

◆総合的な学習の時間 環境教育年間指導計画例

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域の自然環境の課題や保全について調査しよう		赤城山で環境学習をしよう		調査した内容を整理・分析し、発表しよう		課題解決に向けてできることを考えよう		近隣の小・中学校と合同発表会をしよう			

事後の活動例

教科等：総合（2～3時間扱い）

1. 目標

○地域の自然や環境、SDGsなどについての探究的な学習を通して、地域が抱える現状や課題を明らかにし、環境保全についての取り組みなどの情報を収集したり、調べた内容から考察したりして、地域と自分との関わりを理解するとともに積極的に行動しようとする態度を育てる。

2. 学習活動

(1)SDGsについて調べる
 (2)調べた内容を文・絵・図などまとめ、課題意識をもつ。
 (3)調べた内容を友達と発表し合いながら、地域の現状や課題を知る。



当日の活動例

教科等：総合（2～3時間扱い）

<日程>

10:00 登山口集合
 11:00 地蔵岳山頂到着
 12:00 小沼湖畔で昼食
 13:00 覚満淵散策
 15:00 ビンターセンターにて解散

1. 目標

○赤城山の自然環境や環境問題とその保全に取り組む人々が存在することを知るとともに赤城山の環境の現状と自分たちとの関わりを理解することができる。

2. 学習活動

(1)赤城山登山を行う。
 ・登山の楽しさと登山上の注意を確認する。
 ・登山をしながら動植物の話聞く。
 ・地蔵岳で大沼のカルデラの説明やお地蔵様について話を聞く

(2)覚満淵散策を行う。
 ・覚満淵の植生と自然保護、森林の役割について話を聞く。

事前の活動例




教科等：総合 時間数：3～4時間扱い

1. 目標

○学習したことをもとに、赤城山の自然や環境保全などの現状や課題、よさについてレポートや新聞などにまとめることができる。

2. 学習活動

(1)環境保全の取り組みや、活動を通して考えたことや気づいたことを新聞などにまとめる。
 (2)新聞を読み合い、友達と交流することで自分の考えを深める。
 (3)近隣の中学校や小学校で合同発表会を行う。
 (中学生サミット)

◆教科(保健体育)実践例

単元名	【傷害の防止】「応急手当の意義と方法」
目標	傷害による出血や骨折などの際には、迅速かつ適切な手当が傷害の悪化を防止できることなどについて理解し、応急手当ができるようにする。
活動の流れ	事前 ・登山でのけがはどんなものが多いかブレインストーミングする。 ・応急手当の意義を整理する。
	当日 (1)活動の確認（友達や自分がけがをしたときにどうすればよいか） (2)手当の仕方の確認（赤城職員） (3)グループ内で役割分担 ①けが人役がカードをひく。 ②どんなけがをしたかグループの人に言い、処置をしてもらう。 ③処置ができれば、先生にチェックしてもらう。 ④けが人役を替え、次の活動を行う。
	事後 ・学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 ・日常時に行うべき、応急手当や救助法についても学習する。 ・学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。
	場所 地蔵岳
準備	三角巾、包帯、ガーゼ、ビニール袋、ハンダナ、けがカード



けがカード



歩いていたら、左足首をひねって怪我してしまった！
痛くて立ち上がれない！！
左足首を固定してほしい！！



赤城青少年交流の家以外でも、ワークシートを活用された場合とアレンジされた場合は当所までご連絡ください。

◆教科(理科)実践例

単元名	【気象のしくみと天気の変化】「赤城山の天気を調べよう」
目標	生活に関わりの深い、天気の変化と気圧、気温、湿度、雨などの気象との関係や日本の四季、気象災害について理解することができるようにする。
活動の流れ	事前 ・山の観天望気について調べる。 ・中学校周辺の気温、気圧、湿度を調べる。
	当日 1.赤城山の天気を地蔵岳の山頂で学習する。雲の種類、量を調べる。 2.気温、気圧や湿度を調べる。中学校や登山口、山頂との違いを調べる。 (予想) 1,674-379=1,295 13×0.6=7.8℃低い (結果) 21℃-13℃=約8℃
	事後 ・学んだ内容をレポートなどにまとめる。 ・気温、気圧と土地の高さについての関係をまとめる。
場所	地蔵岳
準備	温湿度計、気圧計

